

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 人事課長 本田 勝己 電話番号 0852-22-5022

事務事業の名称	組織体制の見直し	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	時代の変化に迅速に対応できる柔軟で活動的な組織を構築する。
事業概要	必要な行政需要に対し、機動的かつ弾力的に対応しつつ、効果的かつ効率的な組織体制の構築を図る。	

2.成果参考指標

成果参考指標名等			年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	なし	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0	なし
			取組目標値						
	式・定義	なし	実績値	0.0					%
			達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	835	810
うち一般財源 (千円)	835	810

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

必要な行政需要に対し、機動的かつ弾力的に対応しつつ、効果的かつ効率的な組織体制の構築に取り組んでいる。
 【平成28年4月1日の主要組織改正概要】
 1 課の新設：子ども・子育て支援室を青少年家庭課から分割し、子ども・子育て支援課を新設
 2 課内室の新設：私学・県立大学室（県立大学スタッフ、学事グループの改組）、発電事業推進室、地域教育推進室（キャリア教育推進スタッフ、心の教育推進グループの改組）

6.成果があったこと（改善されたこと）

- ・子育て支援や結婚支援の企画・実施体制を強化するための体制を構築。（子ども・子育て支援課）
- ・県立大学松江キャンパス4年制化への対応、私立学校の教育環境・教育水準の維持向上の支援のための体制を構築。（私学・県立大学室）
- ・水力発電設備等のリニューアル、小水力発電所の建設、太陽光発電所の整備など新規電源開発の実施、市町村等への技術支援の拡充のための体制を構築。（発電事業推進室）
- ・高校の魅力化・活性化の推進、県立学校に置くキャリア教育の推進のための体制を構築。（地域教育推進室）

7.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
時代とともに変化し高まる行政需要への対応

②困っている状況が発生している「原因」
社会経済情勢の変化や多様性・高度化する県民ニーズの変化など

③原因を解消するための「課題」
時代に対応した効果的かつ効率的な組織体制の構築

8.今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、必要な行政需要に対し、機動的かつ弾力的に対応しつつ、効果的かつ効率的な組織体制の構築を図る。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）